

## (別紙)

### 2020年度県東地区選手権大会新型コロナ感染防止対策ガイドライン (大会開催の考え方及び参加者へのお願い)

#### 【基本的な考え方】

- ◎大会を主管する県東地区協議会は、最大限の感染防止策を講じる。
- ◎大会に参加するすべての人が感染防止策を理解し、円滑な運営及び防止策の徹底に協力する。特に、感染者が参加した場合は、感染防止策を徹底しても感染を防ぐのは極めて困難であることから、「ウイルスを持ち込まない」ことの重要性を関係者すべての共通認識とする。
- ◎このガイドラインを大会運営上の最低限の基準とし、各会場でこれ以外の基準が設定されている場合はその基準が優先される。

#### 【感染拡大防止対策の基本事項】

- 1 感染対策責任者を置く
  - (1) 大会感染対策責任者（総括）
    - ・大会委員長（須之内）
  - (2) チーム感染対策責任者
    - ・各チーム代表者（県東地区登録の「チーム育成会代表者」）
  - (3) 会場感染対策責任者（予選会場）
    - ・県東地区役員（組み合わせに基づいて決定し、参加チームに周知する）
  - (4) 会場感染対策責任者（決勝会場）
    - ・総務委員長（会場分散の場合は、別途指名して周知する）
- 2 参加自粛をお願いする事項
  - (1) 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合。）
  - (2) 同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる。
  - (3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- 3 体育館への入場制限について  
体育館のフロア、及び観客席に入場できるのは以下のとおりとする。
  - (1) 体育館フロア及び観客席に入場可能な者
    - ①冊子に登録された選手15名、コーチ、アシスタントコーチ、チーム関係者、マネージャーで、かつ全員の「(様式1)健康チェックシート兼大会参加承諾書」を提出したチーム。
    - ②大会役員・スタッフ、競技役員（審判員、TO主任、等大会運営の協力を委嘱された者）で、「(様式1)健康チェックシート兼大会参加承諾書」を提出した者。
  - (2) 観客席に入場可能な者  
チーム関係者で、当日、観客席で応援に参加する場合は、「様式2 チーム関係観戦者名簿」に全員の必要事項を記載し提出したチームのチーム関係者。  
※上記2種類の様式はチーム感染対策責任者が集め、各会場感染対策責任者に提出、管理する。

#### 4 その他留意事項

- (1) 大会役員・スタッフ、競技役員（審判員、TO主任等）、大会関係者は様式1を各会場感染対策責任者に提出する。
- (2) 参加者全員がマスク又は、フェイスシールドの着用やソーシャルディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- (3) 主催者が示す注意事項を順守する。
- (4) 大会終了後の新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに報告する。
- (5) 大会開催中は可能な限り行動記録を記入（感染者発生の際の濃厚接触者特定に役立ちます）する。

#### 【会場入りにあたって必要なもの】

下記（様式1）（様式2）について、試合当日、「チーム感染対策責任者」（チーム育成会代表者）が全員分を集め「会場感染対策責任者」に提出する。

##### 1 （様式1） 「健康チェックシート 兼 大会参加承諾書」の記入

- (1) 対象者： 冊子に登録された「選手、コーチ、アシスタントコーチ、チーム関係者、マネージャー」。及び、大会役員・スタッフ、競技役員（審判員・TO主任等）等、体育館フロアに入場が認められた者。
- (2) 記入項目： 住所等基本項目の他、大会当日までの14日間の体温及び健康状態。

##### 2 （様式2） 「チーム関係観戦者名簿」の提出

- (1) 対象者： 1-(1)を除くチームに関係するすべての人。
- (2) 記入項目： 氏名・年齢・住所・電話番号・当日の体温
- (3) 留意事項： 提出後に未記載参加者が明らかになった場合は速やかに追加登録を行う。（試合終了後であっても必ず報告すること。）

#### 【個人情報の取り扱いについて】

本大会において記入いただいた個人情報については、U12 部会が適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。

但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

本シートに記入いただいた個人情報については、1ヶ月間、U12 部会県東地区理事長が保管し、その後、「シュレッダーによる破砕」等で廃棄します。

#### 【試合運営上の感染防止対策】

以下の点に配慮しつつ、感染対策を講じます。

- (1) 試合中ベンチのコーチ、アシスタントコーチ、保護者、またTO担当チームはマスク又はフェイスシールドを着用する（試合参加中の選手を除く）。
- (2) 試合終了後、選手は速やかにベンチをあとにして、指導者等ベンチ入りしたチームスタッフでベンチの消毒を行う。
- (3) 試合終了後、TOチームは速やかにTO席をあとにして、TO主任はTO席、器具の消毒を行う。

- (4) 試合中は、大きな声での応援、選手への指示は避けるとともに、試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ、円陣等の接触を避ける。
- (5) 観客席では、可能な限り密にならないように配慮するとともに、退出の際は使用した椅子等の消毒に協力する。
- (6) 試合や練習では広く使用できるように準備し、参加者/選手、コーチ、審判は頻繁に手洗いを実施する。消毒液は主催者側で用意するが、チーム内で必要な対策用品は、各チームで用意する。
- (7) スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒を行う。

※ これら上記の対策を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。参加チームは、その点を理解した上で、今大会に参加をしていただくと共に、関係者への周知を行ってください。

### 【重要（大会中止判断等に関する告知）】

- 1 今大会の開催中に、茨城県新型コロナウイルス感染症拡大対策指針がステージ4になった場合、いかなる状況であろうとも大会を中止と致します。
- 2 今大会の開催中に、**陽性者、濃厚接触者、体調不良者**が判明した場合の対応、また、大会の実施可否の判断については9月10日にJBAから発信された「**JBA バasketボール活動再開ガイドライン（手引き）第2版**」（別紙 P33～P39を参照）に基づいて対応、判断致します。
  - 体調不良者がでた場合の大会参加判断 P35
  - 陽性者が出た場合の // P36
  - 濃厚接触者が出た場合の // P37
  - 「大会中止に至る状況」の整理 P34
- 3 大会中止等の判断に関する事前告知
  - (1) 「大会中止に至る状況」に該当した場合、大会中でも中止する場合があります。
  - (2) 大会前日から大会中に陽性者／濃厚接触者／コロナ感染が疑われる体調不良者が発生したチームは参加の自粛をお願いします。（体調不良者の定義はP35に記載あり）
  - (3) 大会中に陽性者発生の場合、保健所の指導により陽性者行動のヒアリング、濃厚接触者の判定消毒作業により大会運営に支障をきたす場合は大会を中止します。

### 【会場別の具体的な対策】

#### 1 予選（小学校会場を想定）の実施方法

- (1) 1会場当たりのチーム数は3チーム以内とする。やむをえず1会場3チームを超える場合でも、速やかなチームの入れ替えにより同時に3チームを超えて会場に滞在することのないようにする。ベンチは、設置可能なスペースがある場合は椅子をひとつづつ前後（交互）にずらし密にならないように配置する。試合を行うチームのベンチは従来どおりTO席をはさんで左右に設置し、試合が連続する場合を除き、チームの入れ替えを行う。
- (2) 試合は半日日程での開催を原則とし、試合間は30分程度（試合と試合間を含め1時間30分）をあて、施設・用具の消毒、換気を徹底する。なお、午前の部、午後の部に分けての開催は可とする。
- (3) 応援席は原則2階ギャラリーとし、試合ごとに応援チームを入れ替える。また応援はソーシャルディスタンスを厳守し、大きな声での応援は控える。ただし、2階に設置できない場合はこの

限りではないが、その会場でとりうる最大限の感染防止策を講じつつ、応援態度についても強く配慮を求めるものとする。

## 2 決勝（コートが複数とれて観覧席も多い体育館を想定）

- (1) 午前と午後で男女の試合を入れ替えて実施する。
- (2) 1日目(1回戦)は、入場(館)時刻の指定と速やかな退館によるチームの入れ替えを実施する。
- (3) 観客席には、当該ゲーム開始20分前より入場可とする。入場前はロビーも含め長時間の待機とならないように時間を厳守して入館する。

## 3 その他留意点

- (1) **ゲーム前**
  - ① 各チームの待機場所については、役員の指示に従う。
  - ② 体温が平熱よりも高い、体調に問題がある等の場合には、参加を見送る。
  - ③ 更衣やウォーミングアップの場所については会場での指示に従う。
  - ④ 前ゲーム終了後ベンチ入りするチームは、消毒作業に支障が出ないように準備する。
- (2) **ゲーム中**
  - ① 選手はコートに入るとき、及びベンチに戻るときに手指の消毒を行う。審判は、各クォーターの初めに手指の消毒を行う。
  - ② 試合球は2個を固定し、TO主任がクォーターごとに消毒し交互に使用する。
- (3) **ゲーム終了後**
  - ① 施設共用部：施設共用部の消毒については主催者の指示に沿って参加チームで行う。役割分担等は当日発表する。
  - ② 応援席：各チームの応援者は、主催者が用意した消毒液で、接触した椅子・手すり等を消毒し、円滑な入れ替えに協力する。
  - ③ 感染者が発生した場合：感染者及び感染が疑われる者の発生が明らかになった場合は、速やかに各チーム感染対策責任者（チーム代表者）に報告する。チーム感染対策責任者は、速やかに大会感染対策責任者（大会委員長、須之内090-1112-3859）に報告する。
- (4) **その他**

このガイドラインは、新たな状況の変化に対応して随時見直すこととし、変更点についてはその都度関係者に周知する。

### 【ガイドラインに付随する資料】

- ① 新型コロナ感染防止対策ガイドライン
  - ② (様式1) 健康チェックシート兼大会参加承諾書
  - ③ (様式2) チーム関係観戦者名簿
  - ④ JBA活動再開ガイドライン(手引き)第2版 抜粋(P33~P39)
- ※ 4. 競技会・講習会の実施可否判断の考え方